

2024 年度 第2回理事会議事録

日 時 令和6年(2024年)9月17日(火) 19:00~20:15 web 会議

出席者 上田 優、内田幸司、江田哲男、菊地克彦、熊代正行、高橋順士、高橋光幸、
寺田理希、鈴木雄一、土井 司、沼野智一、泰 博文、山崎 良、錦 成郎(監事)

委 任 阿部 修、吉丸大輔

議事

1. 第20回磁気共鳴専門技術者認定試験の準備状況

(1) 会場と受験申込者

- 1) 開催期日 2024年10月27日(日) 12:40~15:40
- 2) 試験会場 東京) 東京都立大学荒川キャンパス(東京都荒川区東尾久 7-20-10)
大阪) 難波御堂筋ホール ホール6(大阪市中央区難波 4丁目 2-1)

(2) 書類審査結果と受験資格者の承認

1) 申請状況

東京会場: 230人(初回申請 162人) 受験番号 230 まで発番
大阪会場: 214人(初回申請 155人) 受験番号は 216 まで発番

2) 書類審査の方法

東京会場: 寺田、江田、鈴木
大阪会場: 内田、山崎 で担当
再提出者および不合格者には随時、通知を行った。

3) 審査結果(2024/9/8 現在)

東京会場: 162人中 不合格者 5人、要再提出 3人 現時点合格者 154人
大阪会場: 155人中 不合格者 32人、要再提出 7人 現時点合格者 116人
連絡のつかない人には、メールでの通知をして通信記録が残るようにする。

4) 不備が多い項目

- ・そもそも性能評価試験の要項を読んでいない。レポートとして成立していない。
- ・ファントム形状の未記載(例: ボトル形状)
- ・考察が一般論的な教科書の写し(例: T1 値>T2 値の原因は、、、)

5) 来年度への課題

- ・HP の評価試験方法(レポート作成方法)に関する記載を見直す。
- ・不合格基準の明確化、教育でなく書類審査であることを明確に打ち出す。
- ・再提出の回数、再提出期限などを 21 回認定試験申請までに議論する。

6) 受験資格者の承認

東京会場 再受験者 68 人 初回申請者 157 人 (審査中 3 人)

大阪会場 再受験者 59 人 初回申請者 123 人 (審査中 7 人)

再提出審査期限：9 月 25 日

書類審査に合格しなかった方の受験番号は欠番となる。

(3) 第 20 回磁気共鳴専門技術者認定試験問題の作成作業報告

1) 委員

作成委員 (担当)：16 名

阿部 修 (臨床医学)、小林智哉 (正常解剖)、沼野智一 (基礎物理)、吉丸大輔 (撮像原理)、
上山 毅 (撮像原理)、佐川 肇 (撮像技術)、金沢 勉 (撮像技術)、垂脇博之 (画像評価)、
鈴木 真 (臨床技術)、長濱宏史 (画像解剖)、秦 博文 (読影技術)、木藤善浩 (読影技術)、
上田 優 (関係法規)、山崎 良 (機器管理)、高橋順士 (安全管理)、内田幸司 (その他)

監査委員：2 名 熊代正行、寺田理希

2) 作成問題：全 74 問

臨床医学 (3 問)、正常解剖 (4 問)、基礎物理 (3 問)、撮像原理 (5 問)、撮像技術 (12 問)、
画像評価 (4 問)、臨床技術 (5 問)、画像解剖 (4 問)、読影技術 (17 問)、関係法規 (4 問)、
機器管理 (3 問)、安全管理 (6 問)、その他 (4 問)

3) 委員会

第 1 回作成委員会：7 月 15 日 (月)、JSRT 東京事務所+ZOOM、15 名参加

第 1 回監査委員会：7 月 29 日 (月)、ZOOM、3 名参加

第 2 回作成委員会：8 月 11 日 (日)、JSRT 東京事務所+ZOOM、12 名参加

第 2 回監査委員会：8 月 19 日 (月)、ZOOM、3 名参加

4) 概要

- ・事前に委員間で協議し、項目と出題割合を、アーチファクト評価・対策および安全管理を重視して内訳を変更した。
- ・次回以降、原則、画像を用いる際は、各画像には大文字のアルファベット (A、B、、、)、画像内はカタカナ「ア、イ、、、」を記載して示すこととする。また、画像にて脳機能の左右を問う問題は、必ず図中に左右 (R、L) を記載することとする。

(4) 認定試験の実施について

1) 第 20 回認定試験実行委員会の編成 (○印 運営責任者)

東京会場 ○江田哲男、菊地克彦、鈴木雄一、高橋順士、沼野智一、

秦 博文、吉丸大輔、上山 毅、北川 久、坂井上之、小見正太郎 (11 人)

大阪会場 ○内田幸司、土井 司、山崎 良、竹森大智、立石宗一郎、

垂脇博之、佐川 肇、山谷裕哉 (8 人)

2) 会場の感染対策

会場スタッフならびに受験者はマスクの着用を必須とする。

マスクの非着用者には、受付時に着用を促す。私語は慎むように通知する。

体温測定は行わない。体調管理は自己責任でしていただく。

3) 試験プログラム

実行委員集合 11:45

認定試験 (1) 13:20～14:20 基礎物理, 撮影技術, 応用技術, 読影技術など

(2) 14:40～15:40 保守管理, 安全性, アーチファクト, 解剖など

実行委員解散予定 17:00

4) 試験後のスケジュール

試験問題検討委員会(問題作成委員会)を採点后速やかに開催する。

第3回理事会で報告する。

合格者(認定者)の承認 11月下旬(第3回理事会)

認定証の送付 12月下旬

2. 第15回MR医療安全管理セミナーの準備状況

(1) 期日 2024年12月1日(日) 12:50～17:35 受付開始(現地) 12:20

2024年12月2日(月) 医療安全セミナー確認テスト(web) 約1時間

確認テストを1日(日)当日の20時からの開始を検討する。

(2) 会場 ビジョンセンター品川 2F 204室 (収容人数:机36台2人掛けで72人)

(3) 定員 現地募集50人、web300人 機構のzoomを使ったハイブリッド方式

(4) 受講費 更新講習として受講する場合は無料(更新費用に含む)、それ以外は1000円

(5) ポイント 更新講習会としての参加は0ポイント、それ以外は10ポイント

(6) 申込期間 2024年10月1日(火)～11月24日(土)

(7) 司会・進行 高橋光幸、秦博文、石川応樹

(8) プログラム

1) 13:00～13:45 MRI医療安全【総論】 高清会高井病院 土井 司

2) 13:45～14:30 MRI医療安全【問診を考える】 山形県立新庄病院 矢部邦宏

3) 14:30～15:15 磁性体持込み/体外装着品【貼付薬と化粧品を含む】の安全対応
つくば国際大学 坂井 上之

4) 15:30～16:15 体内装着品【添付文章含む】の安全対応
北里大学病院 小見 正太郎

5) 16:15～17:00 心臓植え込み型電氣的デバイス(CIEDs)の対応と今後の動向
東海大学情報工学部 黒田 輝

3. 第2回一般向けMR安全セミナーの準備状況

すべての医療従事者と患者さんのためのMRI安全講習会

「MRIの安全確保が叫ばれる理由 ～明日は我が身～」

- (1) 期日 2025年1月26日(日) 13:30～16:30 受付開始(現地) 12:45
- (2) 会場 ビジョンセンター東京日本橋 5F 501室
- (3) 受講対象 専門技術者でない診療放射線技師と医師・看護師をはじめとする医療従事者
- (4) 定員 会場20人 web 500人 機構のzoomを使ったハイブリッド方式
- (5) 受講費 無料(ポイントの付与はなし)
- (6) 申込期間 2024年11月18日(月)～2025年1月23日(木)
- (7) 司会(高橋光幸、秦博文、石川応樹)を中心とした討論形式
- (8) コメンテータ 1) MRI検査のリスクファクタ 高槻会高井病院 土井 司
2) 患者さんを安全に導く方法 山形県立新庄病院 矢部 邦宏
3) 体内金属はなぜ危ないのか? 北里大学病院 小見 正太郎
4) 体外金属はなぜ危ないのか? つくば国際大学 坂井 上之

4. 「医療の質・安全学会」との連携

- 1) 「医療の質・安全学会」の学術大会誌(11/29-30)にMR安全セミナーの広告を掲載。
- 2) 「医療の質・安全学会」の学術大会の案内などを機構のホームページに掲載する、
- 3) 今後も協力関係を維持する(医療の質・安全学会の学術大会の広報など)。

5. 肝MRエラストグラフィ講習会

5-1. 「第4回肝MRエラストグラフィ撮像技術講習会」実施報告

- (1) 実施状況 開催日時: 2024年8月24日(土)
開催場所: 東京都立大学荒川キャンパス図書館棟2階MRI室
参加人数: 16名 参加費: 5,000円
- (2) スタッフ構成: 沼野智一(都立大: 講習会委員長), 秦博文(北里大: 講習会副委員長)
田邊頌章(横浜市民: Philips担当), 福澤圭(虎の門: Siemens担当)
伊東大輝(慶應大: GE担当), 石原美人, 山田敬介(都立大学学生: 撮像ボランティア)
- (3) 倫理審査番号 東京都立大学荒川キャンパス研究倫理委員会承認番号 21045
「新しいMRエラストグラフィと超音波エラストグラフィ技術の開発」
- (4) 申込者と参加者選定方法
申込者数と方法: 21名の申込者. Googleフォームに参加者選定のための情報を記入.
参加者選定方法: 先着順による参加者選定を実施した。
申込期間2日間で定員16名を上回る21名の申込みがあった時点で受付を停止した。

参加者地域分布: 北海道 1 名、東北 0 名、関東甲信 9 名、東京 2 名、北陸 1 名、
東海 0 名、近畿 0 名、中国 2 名、四国 0 名、九州 1 名 合計 16 名

(5) 講習会時間割

時間	内容 および 主担当
9:00	スタッフ集合 10:45 まで肝 MRE 撮像実習の打合せと予備撮像
09:30-09:45	受付 (沼野)
09:45-10:00	オリエンテーション (沼野, 秦, 田邊, 福澤, 伊東, 石原, 山田)
10:00-10:45	座学 MR エラストグラフィ基礎 (沼野)
10:45-11:30	座学 肝 MR エラストグラフィ基礎 (伊東)
11:30-12:10	座学 肝 MR エラストグラフィ撮像 (田邊)
12:10-13:00	昼食
13:00-14:30	実習 (秦, 田邊, 沼野, 石原, 山田) 実習 (伊東, 福澤) 肝 MRE 撮像 ROI 設定と弾性率変化(PC/1 人)
14:35-16:05	実習 (秦, 田邊, 沼野, 石原, 山田) 実習 (伊東, 福澤) 肝 MRE 撮像 ROI 設定と弾性率変化(PC/1 人)
16:05-16:15	質疑・応答 (その後解散)

*13:00-16:05 の実習は 8 名の 2 班に分けて 2 種類の実習を交互に実施

(6) 参加者の声

- ・ ROI を囲む実習が難しく、もう少し実例を提示していただいてから始める方がわかりやすかったように感じました。 / ROI の解析については概念が変わりました。
- ・ GE 以外のメーカーに関するシーケンスの設定方法、特徴等のお話もあればよい。
- ・ 職場の他の MRE 担当者に来年受講するように勧めたいです。
- ・ 実際の撮像を行う時間がもう少し長くても良かったように思います。
- ・ 保険加算に受講必須や SCMR のように標準化を目指す必要性を感じました。

(7) 本撮像技術講習会の意義のアピール

- ・ 肝 MR エラストグラフィは保険収載されているが、施設要件などは制定されていない。
- ・ 吉満先生の動向を見て、期を見計らって講習会の必要性を話題にあげる。

5-2, 「第 5 回肝 MR エラストグラフィ撮像技術講習会」実施について

- 1) 期日 2025 年 2 月 23 日 (祝・土) 9:45~16:15 (開催日が変わる可能性がある)
- 2) 会場 東京都立大学荒川キャンパス図書館棟 2F MRI 室
- 3) 募集人数 16 名
- 4) 申込期間 2025 年 1 月 1 日 (木) ~ 2025 年 2 月 3 日 (第 1 月曜)
- 5) 申込方法 Google フォームによる申し込み

6. その他

- (1) 日本救急撮影認定技師標準テキスト「救急撮影ガイドライン改訂（4版）」に関して
執筆協力依頼があった。
- (2) 個人情報の保護に関して
機構の Microsoft 365 の One drive に個人情報に関わるデータを収納する。
- (3) 第3回磁気共鳴専門技術者認定機構理事会の開催期日
2024年11月中旬～下旬 web 会議

以上